



ひとりぼっち ゼロ PROJECT

ニュース No.66
2024.5.1

最高裁判決を待つまでもない！

優生保護法問題の政治的早期・全面解決を求める3.21院内集会

～東京現地参加者 359 人、議員 40 人、227 画面、600 人以上の参加がありました～



兵庫からも被害者とともに歩む会事務局、弁護団代表が東京の衆議院第一議員会館での院内集会に参加、オンラインでつながった兵庫会場には支援者と一緒に原告の小林寛二さん、鈴木由美さんが参加しました。

集会は熊本の原告で2月1日に亡くなられた渡邊敷美さん(79)を偲ぶ黙とうに始まりました。全面解決の日を待たず、また一人亡くなられてしまったという悔しい思いで胸がいっぱいになりました。

国会議員から「最高裁の判決を待つまでもない、政治的解決を」「全会一致で一時金支給の期限延長を」「謝罪と補償を勝ち取る」とメッセージが続きました。議員1人1人の決意表明でもあるこれらのことばの全てが一刻も早く実現するようにと願います。

最高裁で争う原告の小林さんも鈴木さんも兵庫会場から発言しました。小林さんは「一昨年6月に妻は解決を待たず亡くなった。苦しみをかかえ、子どもがいたら楽しいだろうと思いつながりながら生きてきた。これは差別です。差別のない社会を願いながら闘ってきた。国は早く謝ってほしい、全面解決のために闘います。」としっかり話されました。

続いて東京の原告、北三郎さんがアピール文を読み上げ他の原告とともに議員連盟事務局の福島みずほさんに手渡しました。



5月29日は最高裁の弁論期日。原告や弁護団が意見陳述をします。

全国の仲間とともに励まし合い、協同して闘い抜きましょう！

◆優生裁判 100万人署名
4/1 現在 9,922筆
4/16 まで署名期間延長
兵聴協関係目標1万筆
達成確実！

◆映画「沈黙の50年」先行上映会 5/4(祝・土)開催
会場：新長田ピフレホール ※舞台挨拶・ミニ講演含む
時間：午前の部 10:30～12:10 午後の部 14:00～15:40
チケット 好評販売中 定員に達し次第、締め切ります。

神戸長田ふくろの杜から ～さらに地域の中へ～ ◇こども食堂の取り組み◇



お試しこども食堂(みんな食堂)にこどもたちが集まりました！

3月9日(土)、地域貢献事業として「プレしながたこども食堂」に参加協力しました。場所の提供とスタッフ協力です。当日は子どもだけでなく、地域の高齢の方の参加もありました。4月20日(土)から本格的に始まります。毎月、第3土曜日の午後4時～6時まで、お勉強やゲーム交流と食事提供です。「こども食堂」をしたいというまちづくり協議会と、この地域に「こどもの居場所」が必要という区社協と、「一人ひとりを大切に共に生きる」の理念のもと、この地域で子どもや高齢者の「拠点」を目指す社福の思いが合致し実現しました。